



# 校長室だより

黒部市立村椿小学校

令和8年6月22日

文責：校長 齊木 裕

## 本物にふれることの大切さ

～KUROBEアクアフェアリーズ富山 夢プロジェクトより～

6月18日（木）に5年生を対象に「KUROBEアクアフェアリーズ富山 夢プロジェクト」を実施しました。この企画の目的は、黒部市内の子供たちに、「体を動かすこと」「スポーツの楽しさ」を感じさせ、興味や関心をもってもらうことです。また夢や目標をもち成長してほしいという願いをもって開催されています。

当日は、アクアフェアリーズ富山の選手3名とコーチ等2名、計5名が来校されました。最初6名で協力するプログラムをした後、オーバーパス、アンダーパスの練習をして、6名でボールをつなぐゲームをしました。子供たちは、プロ選手から学ぶことで、とても意欲的に関わり、みんなで協力してパスをつなぐ楽しさを感じていたようです。授業の最後には、プロ選手のスパイクを見せてもらい、ボールの速さに驚いていました。

学習後の質問タイムでは、子供たちは、いろいろな質問をしていました。運動ができる体をつくるためにコーチや選手がしていることを3つ紹介してもらいました。

- ・十分に睡眠をとる
- ・牛乳を毎日飲む。
- ・太陽の光をあびる。

上記の3つは、バレーボールをすることだけに当てはまるわけではありません。私たちが、生活していく上で大切なことです。規則正しい生活することは、丈夫な体をつくることにつながると教えてくださいました。その上で、スポーツを楽しむことを通して、夢や目標をもち前進してほしいとアクアフェアリーズの方々が話されました。

